

北の道先案内人

とがし遊魚がいく!

鮎温泉食の旅

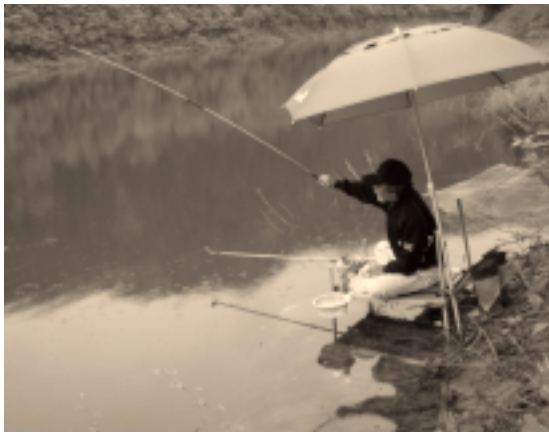
今、地球は暴れまくってますね

天災は、ミャンマーサイクロン大災害に中国四川省大地震と、日本でも6月14日の岩手県内陸を震源とするマグニチュード7.2とする強い地震が発生し、死者・行方不明者が大惨事が、その、今から25年前になるかな忘れもしない5月26日お昼になろうとするときに起こった日本海中部地震は、死者104名も

る恐怖の地震でした。マグニチュードは確か7クラスで、今回と同じくらいだが、津波が100名の人をのみこんだのです。

人災は、原油の異常高騰でガソリンがうなぎ昇り!! また、あらゆる物価も急上昇で私たちを苦しめています。これはヘラブナ釣りに関係のないことではなく、異常気象で、関東以南は例年にならない降雨量ですが、当地は雨がなく、各湖沼やダム湖は異常といえるほどの減水で、特に、大型の出る釣りは、乗っ込みがチョット変です。

また、ガソリンの高騰で釣行回数を減らしている人、遠征釣りは極力やめて近場の釣り場で楽しんでます。ガソリンはこの先どこまで値上げになるのか見当もつかないよつたり、夏休み頃には200円とも云われています。10年前に「こんな時代が来る!」と予想された学識者は誰もいませんよ。ストロボケ父さんの福田総理殿、道路が大事な、命(生活)が大事な、どっちですか?



秋田【五色湖】

この日、青森は「早瀬野ダム」へ向かったのだが、青森も雨不足で「いつものこの時期は満水なのだが超減水で釣座設定に困難で、地図で見ると早瀬野ダムとはすぐ近くの秋田県は田代(アユ釣りでは有名)にある【五色湖】へ向かった。おそらくここも減水だらうなと思いつつ到着したら、ほぼ満水の上、道路から湖面を見ると岸辺で盛んにラブラブ大恋愛が見えるではないか。「ヒュー、ラッキー」と湖畔へ到着したらコイのオンパレードにガッカリ。しかし数10分もしたら、ウキの前でモジリが現れて、それからというもの、尺前後の抱卵ベラが入れば、同行されたWさんも大喜びだ。ここもダム湖ゆえに水底には雑木林で、50~60枚釣れたのだが雑木にハリスを捕られたのが30本以上でした。ここから車で30分の地の二ツ井にある有名なラーメン屋【ねぎ坊主】に寄ろうと2時頃に切り上げて向かったが、2時40分で閉店にガッカリでした。看板らしき看板もない普通の民家ですが、行列の出来るラーメン屋さんです。



津軽【虹の湖】

津軽と云えば、「津軽富士見湖」が超有名ですが、このコラムでチョコチョコ登場する黒石市にある【虹の湖】は、大型の魅力がイッパイで近年では関東からも遊びに来ています。昨年の晩秋に20カ所以上もポイント造りをしましたが、今年は、橋桁の工事があり水位は上がらずに雑木伐採は無駄になったが、GWには乗っ込みにあたり、良い釣りを堪能。48cmまでは釣れるが、50cmオーバーは出ていません。この数年の間に、絶対50cmが出る夢ある釣り場です。この釣り場からは、ランプの温泉宿「青荷温泉」や百人風呂で有名な「酸力湯温泉」、またすぐ近郊には「黒石温泉郷」があります。



【羽根川ダム】

昨年の秋に、ドロク吐けのためなのか大放水で、ダムの水がなくなるのかと心配でしたが、数百坪ほど水を残してくれて助かりました。でも、フナ達がなくなったのはと心傷めておりましたが、GW頃に乗っ込みに入り、釣れる釣れるで心配無用でした。ここはブラックバスが棲息していないので、チャンベラも活発にエサを追い求めてウキの休まることはありません。灌漑用水ゆえに夏場は減水となりますが、堰堤が面白いです。



山菜物語!

ここは、世界遺産の「白神連峰：八森」だ。左が自分で右は山菜名人でヘラキチK氏で、春の「竹の子採りに1回」と、秋の「キノコ採りに1度」案内してもらってます。写真後方の高い山あടെでしょう、あの頂上までこの地から歩くのですよ、行きはさほどでもないのだが、帰りは死ぬ思いの下山でした。ここの「竹の子は特別1級品」。性悪りもなくなるとまたまた挑戦しました。途中、山野草を見ては「綺麗だね!」なんて...どうにかこうにか頂上に到着(小1時間)。そこは台地になっており、幹の太さ60~90cmのブナ林で、空気的美味しさに感動! 誰も入らない秘密の場所でしょうね、熊のウンコの臭いがブンブンだが、竹の子もニョッキニョッキと出ており、すぐに特大リュックサックがイッパイになり、一人で担げない位の重さを背負っての、竹藪の中、道なき林の中、急な沢の下山に、5分も歩けば休憩タイム。ここで遭難したことにして「ヘリコプター」呼んでもらいたい心境! 案内してくれたK氏には大変ご迷惑を掛けてしまいました。

我が家の山菜料理ベストリストー

山菜鍋：竹の子&ミズ&豚バラ肉&豆腐&じゃがいも

オヒタシ：山菜の女王アイコ&山菜の王様シドケ

天麩羅：竹の子&ウドの新芽

2008 春の出来事



復活の兆し【八郎湯】

八郎湯残存湖周辺の承水路で小ベラが釣れるようになったことは、前号でも取り上げました。平成8年頃でしょうか、八郎湯本湖はじめ各河川では、8寸以下のヘラブナが突如釣れなくなり、尺~尺2寸クラスが主流となり、その時は、なんら気にもせずに楽しんで釣りをしていたが、その後年々釣れなくなり、ブラックバスがメチャクチャ釣れる大フィーバーとなり、かつて賑わっていた名ポイントにも人影がなくなり、一部の八郎湯ブリークしか見えなくなったが、昨年あたりからチョットした異変が起き始めました。ブラックバスが小魚を追う姿が見えなくなってヘラブナが釣れ始め、今年にいたっては、かつて有名なポイントである「飯塚大排水河口」では40cmクラスがかなりの枚数で釣れました。その上に6寸前後の小ベラまでが釣れ、「八郎湯復活するのでは」と皆さん喜んでます。でも、釣れるには厳しい条件があるのです。それは、ベタ風とヤマセの風は駄目、最高の条件は、南~西風で笹刈りがベストです。